

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第5期第13回相模原市緑区区民会議				
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802(直通)				
開催日時		令和2年7月11日(土) 10時00分～11時15分				
開催場所		緑区合同庁舎4階 集団指導室				
出席者	委員	17人(別紙のとおり)				
	その他	7人				
	事務局	7人(緑区長、緑区副区長、緑区役所区政策課長、他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	4人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 緑区基本計画について(報告) (2) 第6期に向けた今後の取組について(意見交換) 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は会長の発言 は委員の発言 は事務局の発言)

1 開会

牧瀬会長の司会進行により議事が進められた。

会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開等の確認を行った。また、傍聴希望者の報告を行い、傍聴を許可することとした。

2 議題

(1) 緑区基本計画について (報告)

第 5 期緑区区民会議の答申等を基に策定した緑区基本計画の記載内容について、緑区基本計画パンフレット及び第 5 期緑区区民会議まとめと合わせて、事務局から説明を行った。

○コロナウイルス感染症の問題が突然出てきたため、感染症対策に向けた検討が行えなかった。

○自然災害への対策について計画に盛り込むことが出来たものの、更に検討していく必要がある。

○緑区の自然豊かな点を生かす上でも、計画の中に移住をテーマとして取り上げていただいたことは良かった。中山間地域は過疎化の問題があるものの、コロナを踏まえた新しい生活様式に合わせて取組を行えば、過疎化対策への芽生えとなる好機ではないか。

○コロナに起因して都会からの移住の相談件数が大幅に増えており、中山間地域をこの計画の中で特出しいただきありがたい。自然と都市が一緒になっていることは緑区の強みである。今後、「すもうよ緑区」だけでなく、「はたらこうよ緑区」も考えてもらいたい。

○計画には具体性が不足していることから、今後考えていく必要がある。また、中山間地域をはじめとして公共交通の充実が重要であるものの、十分表現されていないことに課題を感じる。

第 6 期では具体的な実施施策を検討してまいりたい。

○地域経済の活性化についてもしっかりと触れていくべきである。また、当会議の内容が若い人たちにも届くように考えていく必要がある。

(2) 第 6 期に向けた今後の取組について (意見交換)

○中山間地域の振興に興味があり、今後この計画が具体的に進んでいければ良い。

○中山間地域をはじめとする公共交通について、実際取組を進めても地域に利用

してもらえない現状があるという課題について考えていかなければならない。

- 利用希望時間に公共交通を利用できないなど、利用希望と取組にギャップがあり、どう埋めるかが課題である。
- コロナにより当面イベントが行えないなどの現状があることから、この会議も含めてZ o o m等W e b上の開催とするなど、新しい生活様式に合わせて物事を考えていくことが重要である。
- 活字よりも動画視聴の傾向がある20代の若者に伝えるため、動画による情報発信を今後検討してはどうか。
- 自治会の加入率減少など地域のコミュニティが低下している。また、コロナにより意見交換の場も減っており、地域の反応が見えにくくなっている現状について考えていかなければならない。
- 今後も予期せぬ災害が発生する可能性がある中、コロナにより地域で話す機会を設けづらい。また、人口減少と高齢者への対策も引き続き取り組んでいく必要があり、第6期において検討いただきたい。
- どこに住んでも構わない時代の考えが加速している中、緑区は良い位置にいますが、例えば、子どもを産み育てやすいまちというテーマにしても具体的にどうするか考えることが重要である。他との差別化を見出す必要がある。
- 例年盛況となっている夏の星座観測会などの取組を通じて流入人口をどう増やすかが重要である。
- コロナにより10年かけて行おう物事が一気に進んだ。学生はアルバイトやオンライン授業の活動に留まっているため、そのパワーを地域で使うことができないか。
- 定住・交流人口を増やすためには、特に緑区にポテンシャルがあると考えている。やはり他との差別化、個性の特出し化が重要であり、緑区には何の強みがあるか、しっかり考える必要がある。
- これまでの計画では、実施状況の報告がないことから、今後検討いただきたい。
具体的な取組を第6期において進めてまいりたい。
- 計画の具体化が重要で、第6期では計画を成果にどうつなげるか考えなければならない。例えば、中山間地域における働き方にもフォーカスを当てて、我々も具体的にやっていくことが良いのではないか。また、緑区の魅力を把握するためにも、区民会議の視察として緑区の良さ発見ツアーを行ってはいかがか。
- 計画の具体化には理念が重要であり、S D G s やシビックプライドなど本市で芽吹いている価値観を持って進めていくことが重要である。
- 防災・減災の視点が不足していると感じており、これらの対応についても考えていく必要がある。
第6期区民会議において、どのように災害への対応を図っているか、日頃の防災、発災時、発災後の対応に区分した資料を用意していただきたい。

○これからは地元愛の強さが重要である。コロナを踏まえ、若者にとっては、確実に地元の大学進学意向が高まっている傾向にある。更なるネット通信環境の変化、デリバリーサービス、遠隔医療、Zoomによる人の集まりなど、社会の変化を意識して今後計画を推進する必要がある。

関係人口には良い関係人口と悪い関係人口がある。良い関係人口を確保するには、シビックプライドを有してもらうことが望ましく、その結果として、人口が減少しても活動人口が増えることや、一度市外に転出して将来戻ってくるということにつながってくる。本日、交わした意見を踏まえながら第6期の取組を進めていただきたい。

3 その他

東日本旅客鉄道株式会社における橋本駅等のデジタルサイネージ活用について、情報提供が行われた。

第6期第1回の会議は、令和2年8月に開催予定。

4 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	安藤 和実	橋本地区まちづくり会議	出席
	大貫 勲	大沢地区まちづくり会議	欠席
	大参 正人	城山地区まちづくり会議	出席
	落合 勝司	津久井地区まちづくり会議	出席
	長谷川 兌	相模湖地区まちづくり会議	出席
	宮野 善三郎	藤野地区まちづくり会議	出席
関係団体	中山 光明	相模原市自治会連合会	出席
	今井 俊昭	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	出席
	中里 浩章	相模原市立小中学校PTA連絡協議会	出席
	原 正弘	相模原商工会議所	出席
	奈良 哲弥	津久井地域商工会連絡協議会	欠席
	吉野 賢治	一般社団法人 相模原市観光協会	出席
	飯塚 侑	公益社団法人 相模原青年会議所	出席
	渡邊 博明	公益社団法人 津久井青年会議所	欠席
	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会	出席
	小稲 香穂	あざおね社中	欠席
学識経験者	牧瀬 稔	関東学院大学	出席
	関司 直也	法政大学	欠席
区民	高橋 朋樹	公募委員	出席
	齊藤 賢一	公募委員	欠席
民間事業者	山本 篤史	株式会社KADOKAWA	出席
	西山 尚孝	相模湖リゾート株式会社	出席
	高堂 智佳	東日本旅客鉄道株式会社	出席
	中原 正貴	神奈川つくい農業協同組合	欠席

は会長、 は副会長